

# 令和5年度 林業普及週間現地情報(4/2～4/8)

森林管理課

イヌマキの病害虫防除

4月5日(水)

令和5年4月5日、県北部農林水産振興センターは、首里城友の会が大切に守り育てているイヌマキ林においてキオビエダシヤクという害虫の防除を行った。

首里城公園友の会は、平成の首里城復元時に、先の大戦等により荒廃した本県の森林から木材を供給できなかつたことを機に、将来の首里城修復のために修復材となるイヌマキを植樹・育樹していくことを目的に平成4年5月に設立した団体である。

また、キオビエダシヤクはシヤクガ科に属する蛾の一種で、幼虫はイヌマキを好んで接触する。食欲旺盛で大量に発生するため、加害された木は葉が全て食い尽くされ、枯れるものも多い。

当日は、蛾が大量に舞っており、木には多くの幼虫が発生していた。薬剤を散布したところ、すぐに多くの幼虫が糸を引いて垂れてきた。今回の薬剤散布で年内のキオビエダシヤクの食害は止まり、イヌマキが順調に生育するものと思われる。

今後とも、将来の首里城の修復材となるよう首里城友の会と連携し立派なイヌマキ林を作っていきたい。



薬剤散布の様子

(報告者：北部農林水産振興センター 仲里、中村、森田、佐野)